

平成28年度高知女子大学看護学会公開講座報告

「やってみてわかる！ 分析方法」

平成28年の公開講座は、「やってみてわかる！ 分析方法」（高知県立大学共催）をテーマに、平成28年9月3日（土）に「看護の量的研究」第1回と第2回、平成28年10月1日（土）に「看護の質的研究」第3回と第4回を、高知県立大学池キャンパスにて開催し、看護師や保健師、学生などが参加してくださいました。

第1回「看護の量的研究：質問紙の作成とデータ分析の入口」は、講師 内川洋子先生（高知県立大学准教授）で開催し、参加者は45名でした。質問紙調査のポイント等の講義の後、具体的な質問紙の作成について演習を通して学びました。参加者からは、「量的研究の質問のポイントが分かりました。実際の研究に活かしていきたいです。」「大変分かりやすく、具体的な内容で今後の自分にとっても役立つと思いますが、1回で実践できるかと言えば自信がなく、何度も聞きたいと思いました。」「難しかった。もう少し時間をかけて聞きたかった」などの感想をいただきました。



第2回「看護の量的研究：量的データ分析の進め方の実際」は、講師 井上正隆先生（高知県立大学講師）で開催し、参加者は44名でした。量的研究におけるデータの分析や解釈について、講義と実際のデータを用いた演習を行ないながら学びました。参加者からは、「基本的なことが理解できると、実践で自分たちの看護実践の成果・効果を示すことができるようになり、面白くなりそうだった。」「難しかったがとても楽しく学びました。まずは手元にあるデータを見てグラフを描いてみることから始めたい。」「例を挙げて説明してくれたのでとても分かりやすかったです。パート2もやってほしいです。」との意見や感想をいただきました。



第3回「看護の質的研究：インタビューガイドの作成とインタビューの実際」は、講師 田井雅子先生（高知県立大学教授）で開催し、参加者は27名でした。質的研究における半構造的インタビューガイドの作成についての講義の後、

演習ではインタビューガイドの作成やインタビューを実際に行なってみました。「グループワークが楽しかったです。」「グループワークで実際に学んだことを実践する機会があり、できたこと、できなかったことが明らかになり、次の機会の実践に活かしていきたいと思う。」「実際にやってみても本当にこれでいいのか悩みます。」などの感想をいただきました。



トリーを描くことについても講義をしていただきました。参加者からは、「実際にやってみることで、次からやってみようという気になりました。」「分析には忍耐力が必要だと今実感しています。コード名のつけ方や分類の仕方が具体的でとても勉強になりました。」「分析の仕方についてもっと時間をかけて指導していただきたい。」との感想が寄せられました。



第4回「看護の質的研究：インタビューデータの分析」は、講師 池添志乃先生（高知県立大学教授）で開催し、30名の参加者でした。データとの対話を繰り返しながらカテゴリー化を行なうことについてご講義いただいた後、実際にコード化やカテゴリー化の演習を行ないました。また、演習後には池添先生より分析結果からス

平成28年度の4回の公開講座には多くの皆様が参加してくださいました。1日を通して参加した方も多く、演習にも熱心に取り組まれました。看護研究に関する学習ニーズは高く、アンケートで寄せられたご意見やご要望を参考に、次年度の企画を検討していきたいと考えております。